



おかげさまで、今回「広報やまと」
 第100号の発行となりました。
 ここまでたどり着けたのもひとえに
 皆様のご協力があったてのことと、
 深くお礼申しあげます。

「広報やまと」歴代担当者に、
 当時を振り返って頂きました。

「お店の特集をしてみたいなあ」
 広報担当だった7年前に漠然と考え
 ていましたが、取材不足で掲載でき
 ませんでした。季節は巡り、現在、
 商工観光課に籍を置き、商工業、特
 に商店街の振興をどうするか、関係
 者のみなさんと一緒に知恵を絞る毎
 日です。話を伺い、課題を共有し、
 解決策を探る。本を読むことや、現
 場を歩くことも大事です。それはま
 さに、広報担当時に培ったノウハウ
 です。広報やまとの歩みに励まされ
 ます。(S)

広報担当を引退して4年がたち、
 広報山都100号の発行ということ
 で、自分も年齢を重ねてきているん
 だなあと改めて感じています。取材
 で町内各地に出かけたこと、多くの
 町民の方と知り合えたことは、今の
 職場でも大変役立っています。わず
 か2年間でしたが、広報誌づくりで
 得たものは、自分にとって大きな財
 産となっていると実感しています。
 しかし、自分が作った過去の広報誌
 を見るのは、なんだか恥ずかしいも
 のです。(F)

3代目担当の藤川です。4年間も
 広報誌の発行に携わることができ、
 とても光栄に感じています。広報誌
 担当は「泣く泣く担当になり、泣く
 泣く去っていく」ものだと思っていた
 とがあります。まさにその通りでし
 た。担当中は、各種イベントや、町
 民の方々の活躍、地域の歴史と文化
 を堪能することができました。それ
 をどのように記事と写真で伝えるか
 を毎号考え続けていました。少しで
 も町民の皆さんに伝わっていたなら
 幸いです。

編集後記

広報誌の担当になりこの約3カ月
 様々な場所へ伺いました。毎回、取
 材へ伺う時は物凄く緊張していま
 す。それを察してか、取材先では大
 人の方はもちろん子ども達も優しく
 迎え入れてくれて、帰る時は毎回名
 残惜しくなります。
 今回、歴代の広報やまと担当者に
 当時を振り返って頂きました。「こ
 の3人も同じ気持ちだったんだろう
 な」と文章を読み返しながら考えて
 いました。私も早くこの3人と肩を
 並べられるように頑張ります。(K)

No. 1 ~ No. 25

平成17 ~ 18年度



広報誌部門…グランプリ (H17, H18)
 写真部門…佳作 (H17)、特選 (H18)

No. 26 ~ No. 49

平成19 ~ 20年度



広報誌部門…グランプリ (H19)
 写真部門…特選 (H19)

No. 50 ~ No. 97

平成21 ~ 24年度



広報誌部門…佳作 (H24)

No. 98 ~

平成25年度~



これからも皆さまへ山都町の
 色々な事を伝えていきます。